

よしゆきの一般質問

除草剤耐性作物

説明 嘉麻市議会は、昨年12月福岡県に種子法に代わる条例制定を求める意見書を提出した。この中身は、種子のことで事業者による市場独占を問題視している。

F1品種種子は、1代限りの作物で、2代目以降は同じ品質のものではできなくなっている。したがって、常に種を買い求めなければならない。

遺伝子組み換え作物は、除草剤に耐性を持たせたものや、害虫を殺す毒性を持たせた種子などが開発されている。日本に輸入されている大豆・トウモロコシの8割は米国産で、除草剤に耐性を持たせた遺伝子組み換え作物とのことだ。種子について行政の見解を問う。

井桁農林整備課長 福岡県



は、種子法廃止後も安定供給の取組をしている。県の動向を見守りたい。

ラウンドアップ規制

質 グリホサート除草剤は、発がん性物質による土壌・水質汚染を招くとして世界規模で使用規制が広まっている。2015年にWTOによって、発がん性物質に分類された。ロシア、スリランカ、オランダなどで使用禁止にされ、EU諸国も規制の動きがある。しかし、日本は安全基準を緩和している。行政の見解を求めます。

農林整備課長 国が許可しているのに従いたい。質 糟屋郡宇美町では、グリホサートを成分としたラウンドアップ除草剤を禁止にしている。嘉麻市も禁止にできないか。

農林整備課長 宇美町は、公園、グラウンドなど公共施設へのラウンドアップ使用を禁止している。近隣自治体の動きを見てゆく。

赤間市長 規制は法的問題もある。調査し対応する。

イノシシを肥料に

質 門前信号横の農地が、イノシシ被害にあった。被害は平野部へと及んでいる。佐賀県武雄市が、3000万円かけイノシシを肥料にする計画をたてている。嘉麻市でも取組めないか。

井桁農林整備課長 福岡県に情報収集を依頼している。

避難勧告・指示

質 昨年豪雨災害が発生した時、避難勧告・指示を発令したが実際に避難した人は少なかった。反省点は、大野防災対策課長 避難率が少なかった。避難せずに被災することが、一番の問題で対策を考えている。

佐賀県武雄市は、約40分で大洪水になったという。避難勧告・指示に従ってもらうためには、繰り返し避難訓練が必要と思うが。



絵 熊谷レン

防災対策課長 訓練に対し

て積極的に支援したい。質 市は、旗振り役として避難訓練の指導をされたい。

赤間市長 自助・共助・公助を含め啓発していく。

農業用水路

質 豪雨時は、農業用水路の堰を開けなければならぬ。碓井地区上臼井の用水路は、堰が閉められたまま

で、民家が被災している。井桁農林整備課長 水路の管理は、受益者に委託している。堰の改良は、優先順位で取組む。

入札方法の検討

質 直方市は、公契約条例を制定している。労働者の待遇改善と公共工事の品質を保つため、条例を制定すべきだ。

白石副市長 趣旨は理解している。今後協議したい。

質 飯塚市が、1億5千万以上の工事契約で総合評価方式を採用している。公契約条例制定の前段として取組めないか。

副市長 飯塚市は制定しているが、同方式での入札は実際に行っていない。

意見 消防署建設でこの方式を採用している。

交付金問題

質 2019年6月議会の続きであるが、N議員が提出している参考資料にある約400万円の使途不明金は実際にあったのか。

安倍総務課長 B行政区が作成した文書は、情報公開で入手した数字に基づいている。

質 市が、用務員手当を交付しているのか。

総務課長 市は、交付していない。

質 用務員手当は、実際に出されていない。明細書が誤解を招いている。だから関係者は、勘違いしていた。この文書にあるように、行政区長が不正を行ったのか。

総務課長 不正のあるなしについては控えない。

質 不正があったならば、行政が追求せねばならない。

総務課長 不正とは思っていない。

質 不正をした、登録数をごまかしたとA行政区長に嫌疑をかけている。これは人権問題だ。相談する機関はどこか。

頼金人権同和対策課長 人

権擁護委員会という機関がある。

質 同地区の人権擁護委員は、N議員だが彼に相談するのか。

議長 通告にないので、回答が出来ない。

土木行政

質 通学路の除草は年何回行っているか。

高崎土木課長 年2回だ。

質 縁石の木の根を取り除かないとすぐ繁茂する。

土木課長 木の根まで除却するよう手配している。

歩道に点字ブロック

質 旧JR線の歩道に電柱が林立し、視覚障がい者や電動車いす利用者のバリアーになっている。せめて点字ブロックを設置できないか。

赤間市長 バリアーになっている電柱

したい。



バリアーになっている電柱